

事務所案内

布施恭祐

公認会計士・中小企業診断士 事務所



Kyosuke Fuse
CPA & SMEC Office



布施 恭祐
FUSE, Kyosuke

公認会計士、中小企業診断士、上級IPO実務士。

1985年 北海道生まれ。中央大学商学部卒、早稲田大学大学院会計研究科修了(主席)。

あらた監査法人(現PwCあらた有責任監査法人)に入所後、上場企業、外資系企業、上場準備企業に対する財務諸表監査、内部統制監査、不正対応監査に従事する傍ら、IPO準備企業に対する管理体制構築、M&Aに係る財務デュー・デリジェンス、グループ・ガバナンス等に関するアドバイザー・サービスにも従事。

また、中小企業診断士としても、多数の中小企業に対し事業戦略やマーケティング、財務等に関する経営診断・コンサルティングサービスを提供している。

不確実な時代の経営において

プロフェッショナルサービスをもっと身近に

VUCA(変動、不確実、複雑、曖昧)といわれ先の読めない現代の経営においては、複雑化したステークホルダーとの関係を意識した経営が必要であり、ガバナンスといった観点だけでも、企業会計や租税法、内部統制に加え、社会課題への対応といった広範かつ高度な専門知識・能力を駆使した経営が不可欠となっています。私たちは、このような専門知識をもっと身近に活用してもらいたいと考えております。

私たちは、信頼される参謀として、これらの課題に対して真摯に向き合い、本質を追求した課題解決を志向します。専門能力と幅広い知見、専門家同士のネットワークを駆使し、貴社の特性や成長フェーズにフィットした“核心を突く”課題解決にこだわる高品質のプロフェッショナルサービスを提供いたします。

布施 恭祐

事務所理念

財務・会計を中心とした専門性と経営全般に関する幅広い知見を通じ、
核心を突く課題解決により、企業の成長と安定に貢献する

本質的な課題と“核心を突く”解決策を追求します

私たちは、貴社の“参謀”として、事業経営とその課題に対して真摯に向き合います。目の前の表面的な課題に囚われることなく、本質的な経営課題を追求し、核心を突く課題解決のために全力で分析を行い、アクションプランを策定し、実行を支援します。

たとえ、経営者が気づいていないこと、都合の悪いことであっても、誠実に分析し、本質的な経営課題の解決に全力を尽くします。

“実行”を重視します

課題への対応策は、実行されて初めて意味を持つものであり、「絵に描いた餅」では意味がありません。私たちは、現場で実行できる対応策こそ核心を突く課題解決であると考え、常に対策の実現にフォーカスし、明日から実行できる対応策の提案と実行支援を行います。

“プロフェッショナルとして”の職業倫理を遵守します

私たちは、プロフェッショナルとしての高い倫理意識を常に保持してサービス提供に臨みます。プロフェッショナルとしての職業倫理には、誠実な業務遂行や守秘義務はもちろんのこと、常に客観性を保持し、高い専門性を維持・向上していくこと等が含まれており、これらの遵守を自らに課すことによって高品質のサービスを提供し続けることができると考えております。

ロゴマークの意味



中央の✓は、理念である“核心を突く”課題解決を示しています。「高度の専門能力」と「高潔な職業倫理」という2つの円の中であってこそ、核心を突く本質的な課題解決が達成できるという理念をロゴマークに表現しています。

サービスライン

外部CFO、顧問サービス

スタートアップや中小企業では、経理・財務や経営管理の専門能力を持ったCFOを専任で置くことは難しい状況にあります。一方で、経営の参謀としてCFOに期待される役割は、スタートアップや中小企業にこそ重要であると考えられます。

私たちは、外部のプロフェッショナルCFOとして、また、経営者の参謀として、客観的かつ的確なアドバイス、経営支援を実行いたします。

経営管理体制・内部統制の構築支援、内部監査サービス

コーポレート・ガバナンスおよび内部統制や、これらを含む経営管理体制全般について、現状の体制の見直し・改善や新たな体制づくりを支援いたします。IPO準備企業や新規事業の設立、また、自社のガバナンスのレベルアップを図りたいといったご要望にお応えいたします。

また、貴社の内部監査業務に関するアドバイスやアウトソーシング、コソーシングも対応いたします。

決算早期化・監査対応の効率化支援

VUCA〔Volatility(変動)、Uncertainty(不確実)、Complexity(複雑)、Ambiguity(曖昧)〕といわれる現代の経営環境において、早期・高頻度の予算実績分析は必須の経営管理であり、決算早期化は重要な経営課題の1つとなっています。決算プロセスを含む業務プロセス全体を俯瞰し、実行可能性の高い決算早期化対策のご提案、実行支援をいたします。

また、上場企業等、外部監査人からの監査を受けている企業においては、監査対応に多くの時間と工数がかかっているものと思います。会計監査の手法を熟知した公認会計士が、貴社と貴社監査人の双方の負荷を軽減する監査対応効率化をご提案、実行支援いたします。

財務デュー・ディリジェンス、企業価値評価業務

M&AやIPO、事業再生フェーズにおけるエクイティ・ファイナンスの局面では、企業価値の適切な評価と、その前提となる企業実態調査であるデュー・ディリジェンスは必須の手続であり、これらの業務の成否が買収後の経営統合(PMI)に重要な影響を与えます。当事務所は、買収後の事業戦略や会計処理と財務インパクト、ガバナンスの仕組み等を見据えた必要十分の手続を提案、実施いたします。

また、買い手側(バイサイド)のみならず、売り手側(セルサイド)の立場からのデュー・ディリジェンス、企業価値評価も対応いたします。

経営診断、戦略策定・実行支援

企業や商店街、組合などの事業組織に対し、経営診断や戦略策定・戦略実行支援を行うコンサルティング事業を行っています。経営革新や事業再生といった全社的な問題から、販売促進、KPIマネジメント、資金繰り対策など、課題ごとの解決支援などもお手伝いします。

会計・税務アドバイザリー業務

近年、ますます複雑化する企業会計、租税法への適切な対応をアドバイスいたします。

会計アドバイザリーにおいては、複雑化する会計基準への適用について、関連する内部統制の構築から関連する企業開示(有価証券報告書等)や税務申告まで、一気通貫でアドバイスいたします。

税務アドバイザリー業務においては、企業とオーナーの総合的なタックスプランニングのほか、M&A、組織再編、新規事業進出時のスキーム検討に関する会計・税務アドバイザリー業務を提供いたします。

※ 税務アドバイザリーについては、提携している「税理士法人たいせつ」と共同して実施いたします。

事務所概要

名称	布施恭祐 公認会計士・中小企業診断士事務所 Kyosuke Fuse CPA&SMEC Office
代表者	布施 恭祐 FUSE, Kyosuke
所在地	〒101-0031 東京都千代田区東神田3丁目2-4 東神田サマリヤマンション406
Website	www.fuse-cpa.com
お問い合わせ	代表電話 050 3646 2266 メール窓口 info@fuse-cpa.com



Kyosuke Fuse
CPA & SMEC Office